

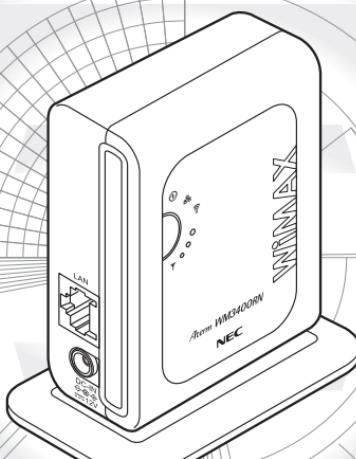
Alterm[®] WM3400RN

取扱説明書

第1版



接続・設定の際は、
「つなぎかたガイド」
をご覧ください。



技術基準適合認証品

「ソフトウェアのご使用条件」は、「つなぎかたガイド」に記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度は Aterm WM3400RN をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WM3400RN（以下、WM3400RN と呼びます。）は、UQWiMAX 網を利用した MVNO（仮想移動体通信事業者）および UQ コミュニケーションズ株式会社の提供による WiMAX サービスに接続して通信を行う IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した据置型の無線 LAN 内蔵ホーム WiMAX ルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。

箱に添付されておりますサポート案内の用紙に記載のURLからご覧ください。

（サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」と記載されている場合があります。）

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ : 低、中、および高域の一部を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

■ WiMAX 通信をご利用いただくにあたって

- 本商品は日本国内でのご利用を前提にしています。海外に持ち出しての使用はできません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略です。

※本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。

※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

Mac、Macintosh、AirMac、iPad、iPod、iPod touch、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple,inc. の登録商標または商標です。

iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。

PowerPC は、米国における米国 International Business Machines Corp. の商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「Xperia」は、Sony Ericsson Mobile Communications AB の商標または登録商標です。

“Google”、“Android” は、Google Inc. の商標または登録商標です。

“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Wii・Nintendo DS・ディーエス / DS は、任天堂の登録商標または商標です。

Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaScript は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

WiMAX Forum は WiMAX Forum の登録商標です。WiMAX、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、および WiMAX Forum Certified ロゴは WiMAX Forum の商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利者の所有物です。

Atheros、XSPAN のロゴは、Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2010, © NEC AccessTechnica, Ltd. 2010

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警 告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注 意** :人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願 い** :本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号



一般指示



電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警 告

AC アダプタ

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。



⚠ 警 告

- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。  
- AC アダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-001661-001」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。  
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。  
- 本商品添付の AC アダプタは日本国内 AC100V(50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。  
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。AC アダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。  

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。  
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- 本商品のコネクタ接続部に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。  
- AC アダプタの電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。  

⚠ 警 告

- 強い衝撃を与えたる、落としたり、曲げたりしないでください。
万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。
- ガネた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

医療電気機器の近くでの取り扱いについて

※下記記載は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準する。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は22cm以上離して使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
 - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- 自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

⚠ 警 告

その他のご注意事項

- 病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。 
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- 引火や爆発のおそれがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。  
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  

⚠ 注 意**設置場所**

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。  
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。  
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因となることがあります。 
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。
重ね置きや上部に物を置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 
- 布や毛布をかぶせたり、包んだりしないでください。
火災や故障の原因となります。 
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。 
- 本商品は、横置きにしないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。 

⚠ 注意

AC アダプタ

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間にほこりがある場合は、取り除いてください。火災の原因となることがあります。 
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 
- 本商品の使用中や使用直後、AC アダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。 

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。 
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。 
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかったり、接続機器が故障することがあります。 

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところでのご使用は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・高周波雜音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、接続コードを取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

STOP お願い

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN / WiMAX に関するご注意

- WiMAX の通信速度、最大下り 40Mbps / 上り 10Mbps (規格値) は IEEE802.16e-2005 (Mobile WiMAX) の規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) ではありません。
同様に最大 300Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値)、最大 11Mbps (規格値) は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) ではありません。
- 本商品は他社製 IEEE802.11n 準拠製品との互換接続性を保証していません。
- 本製品は IEEE802.16e-2005 (Mobile WiMAX) 準拠製品であり、IEEE802.16e-2004 (固定 WiMAX) との接続性は保証の限りではありません。
- サービスエリア外ではご使用になれません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所 (屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など) では、通信できなかつたり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であつてもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- WiMAX および無線 LAN の電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。

STOP お願い

その他のご注意

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れことがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
プラスチック製品の製造過程で生じることがあります、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に 対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	5
目次	15
「  機能詳細ガイド」目次	17
本商品に添付の CD-ROM について	18
1 章 準備	
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-8
1-3 各部の名称とはたらき	1-9
WM3400RN	1-9
1-4 あらかじめ確認してください	1-12
パソコンの準備	1-12
2 章 設置する	
2-1 設置する	2-2
WM3400RN の置き場所を決める	2-2
WM3400RN を設置する	2-3
3 章 WM3400RN を使用する	
3-1 クイック設定 Web の使いかた	3-2
クイック設定 Web をご使用になる前に	3-2
クイック設定 Web の起動のしかた	3-4
ポップアップヘルプについて	3-5
3-2 サインアップする	3-6
サインアップする	3-6
3-3 Windows Vista® および Windows® 7/XP の 「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する	3-12
Windows® 7 の場合	3-13
Windows Vista® の場合	3-20
Windows® XP (Service Pack 2 または 3) の場合	3-26
Windows® XP (Service Pack 1) の場合	3-30
本商品との通信状態を確認するには	3-34
3-4 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する	3-35
3-5 無線 LAN で iPhone/iPod touch/iPad から接続する	3-36
3-6 WPS 機能を使用して無線設定する	3-37
設定ボタン (らくらくスタートボタン) による設定	3-37
PIN 方式による設定	3-38
3-7 セキュリティ対策をする	3-42
セキュリティ機能について	3-42
悪質サイトブロック機能を設定する	3-43

3-8	便利な機能	3-50
	VPN パススルー機能	3-50
	IP パケットフィルタリング	3-50
	ポートマッピング	3-50
	UPnP 機能	3-50
	らくらく無線スタート、らくらく無線スタート EX 搭載	3-50
3-9	ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする	3-51
	ファームウェアをバージョンアップする	3-51
	ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする	3-55
4 章 お困りのときには		
4-1	トラブルシューティング	4-2
	設置に関するトラブル	4-2
	WiMAX に関するトラブル	4-3
	添付の CD-ROM に関するトラブル	4-11
4-2	初期化する	4-12
	クイック設定 Web で初期化する	4-12
	RESET スイッチで初期化する	4-13
5 章 付録		
5-1	製品仕様	5-2
	WM3400RN ハードウェア仕様	5-2
5-2	索引	5-4

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が別紙に記載のホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

プロードバンドルータ機能	アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)	静的ルーティング
DNS ルーティング	IP パケットフィルタリング
ダイナミックポートコントロール機能	DHCP サーバ機能
DNS フォワーディング	不正アクセス検出機能
悪質サイトブロック機能	通信情報ログ (アクセスログ機能)
UPnP 機能	DMZ ホスト機能

■WAN側機能■

VPN パススルー機能

■無線機能■

IEEE802.11n 無線 LAN	デュアルチャネル
IEEE802.11b 無線 LAN	IEEE802.11g 無線 LAN
暗号化	MAC アドレスフィルタリング機能
ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
マルチ SSID	ネットワーク分離機能
AirMac 対応のパソコンでインターネット接続	らくらく無線スタート機能
らくらく無線スタート EX 機能	WPS 機能

■その他の機能■

管理者パスワードの変更	時刻設定
通信確認 (疎通確認テスト)	情報表示 (装置情報、状態表示)
ファームウェアの更新	

〈クイック設定 Web の使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧 (無線)	クイック設定 Web の使い方 (無線)
無線セキュリティ	

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する	ネットワーク対応アプリケーション
ファイルとプリンタの共有	

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

■ Windows® パソコン

- ① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Windows Vista® および Windows® 7/XP (Service Pack 2 または 3) のみ)
- ② TCP/IP チューンアップウィザード
- ③ 取扱説明書 (PDF ファイル)

【ご使用上のご注意】

- 添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [ファイル名を指定して実行] を選択する
※ Windows® XP/2000 Professional の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe を入力し、[OK] をクリックする
(例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)
- CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional でユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。

- ・ Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版
- ・ Windows Vista® または Windows® XP (Service Pack 2 または 3) の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版

● 推奨環境

- ・ Windows® の推奨環境以上のパソコン
- ・ ハードディスク容量 : 40MB 以上を推奨
- ・ メモリ容量 : Windows® 7/Windows Vista® の場合は、512MB 以上を推奨
Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
- ・ 800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

■ Mac パソコン

取扱説明書（PDF ファイル）

CD-ROM の動作環境

● 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。

Mac OS X 10.4 (Intel) の日本語版、Mac OS X 10.5 (Intel) の日本語版、
または Mac OS X 10.6 (Intel) の日本語版
(PowerPC 搭載機種では動作しませんのでご注意ください。)

● 推奨環境

< Mac OS X 10.4 (Intel) >

CPU : Intel CoreDuo/1.67GHz 以上
メモリ : 512MB 以上

< Mac OS X 10.5 (Intel) >

CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上

< Mac OS X 10.6 (Intel) >

CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上

● 表示画面

・ サイズ : 800 × 600 ピクセル以上

・ 色 : High-Color (24 ビット) 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。



お知らせ

● PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。

Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

● 本商品の対応 OS については、P1-12 を参照してください。

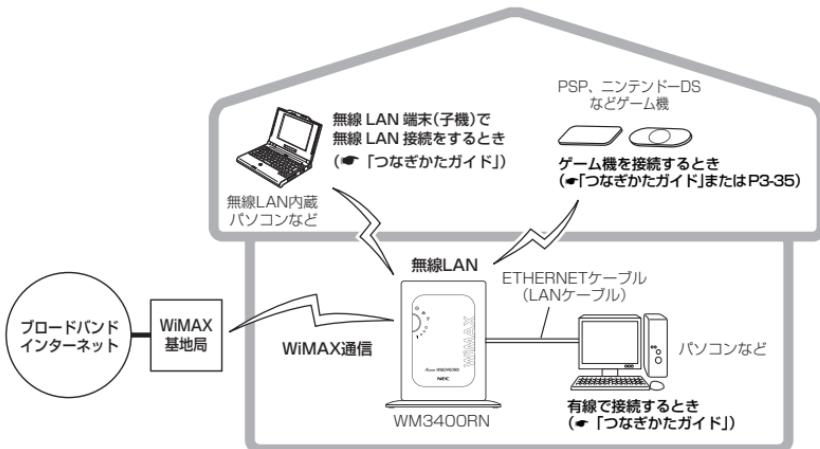
MEMO

1

準備

1-1	本商品でできること	1-2
1-2	箱の中身を確認しよう	1-8
1-3	各部の名称とはたらき	1-9
1-4	あらかじめ確認してください	1-12

本商品は、IEEE802.16e (2.5GHz 帯) の WiMAX ネットワークで WiMAX 基地局と接続し、複数の無線／有線 LAN 端末をインターネット利用できるように束ねる無線 LAN 内蔵ホーム WiMAX ルータです。



インターネットに接続するまでの手順や無線 LAN 設定については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

さらに本商品では、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■ 無線 LAN 通信

本商品は、IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線 LAN アクセスポイント（親機）としてご利用になれます。

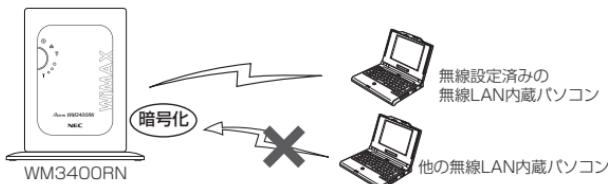
- IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

- 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。（☞P3-42）

※ 本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。



- 無線 LAN 端末（子機）を増設する（☞機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11n 通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/ WL300NU-AG/WL300NU-G/WL300NE-AG
IEEE802.11b 通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/ WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/ WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/ WL54TU/WL300NE-AG/WL54SE/WL54SE2/ WL54TE
IEEE802.11g 通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/ WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/ WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/ WL54TU/WL300NE-AG/WL54SE/WL54SE2/ WL54TE

※ IEEE802.11n 通信で WL130NC を増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20 での通信になります。

※ WL54AG-SD、WL54AG (S) は WL54AG に含まれます。

※ 接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、WM3400RN が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

■ 無線 LAN 通信

● WPS 機能に対応

WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。(☞P3-37、⑩機能詳細ガイド)

設定方法には、設定ボタン（らくらくスタートボタン）による設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続・セキュリティの設定を簡単にを行うための規格です。

■ セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策することができます。(⑩機能詳細ガイド)

- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード／NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ ダイナミックポートコントロール機能
- ・ 悪質サイトブロック機能

■ 悪質サイトブロック機能

悪質サイトブロック機能は、ネットスター社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。(☞P3-43、⑩機能詳細ガイド)

■マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID (プライマリ / セカンダリ) を利用可能です。([\(◎\)機能詳細ガイド](#))

● プライマリ SSID

初期値: 「WARPSTAR-XXXXXX」

→本商品裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」の上段に記載されています。

暗号化方式として WEP / TKIP / AES が利用可能。(初期値は AES)

AES が設定されている場合、IEEE802.11n による高速通信が利用可能。

● セカンダリ SSID

初期値: 「WARPSTAR-XXXXXX-W」

→本商品裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」の下段に記載されています。

暗号化方式として WEP のみ利用可能。(初期値は 128bitWEP)

※セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態で下記の制限があります。

- ・ クイック設定 Web が表示できない
- ・ 本商品に有線で接続された端末に接続できない
- ・ 本商品にプライマリ SSID で接続された端末に接続できない

制限を解除したい場合は、プライマリ SSID に接続した無線 LAN 端末 (子機) から、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」の「[対象ネットワークを選択]」でセカンダリ SSID を選択し、「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」の「[ネットワーク分離機能]」で「[使用する]」のチェックを外してください。([\(◎\)機能詳細ガイド](#))

「プライマリ SSID」と「セカンダリ SSID」は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末 (子機) と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末 (子機) が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末 (子機) の無線 LAN 規格に応じて、どの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、これらの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■デュアルチャネル

本商品では、無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の 20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、従来比約 2 倍の通信速度 (理論値最大 300Mbps) を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する」)

本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯(計 7 チャネル) です。([\(◎\)機能詳細ガイド](#))

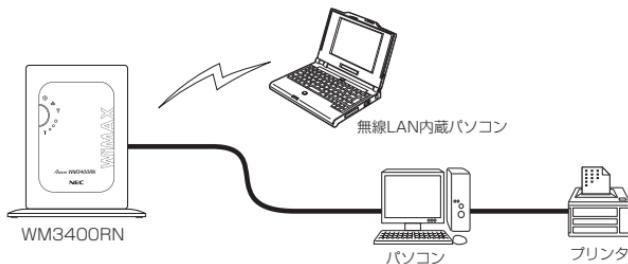
■ネットワーク分離機能

マルチ SSID のそれぞれのネットワーク (プライマリ SSID / セカンダリ SSID) に接続した無線 LAN 端末 (子機) や、有線で接続されたパソコンへのアクセスを制限し、本商品に接続した他のネットワークから分離することができます。([\(◎\)機能詳細ガイド](#))

なお、WAN 側が分離されることはありません。

■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(☞機能詳細ガイド)



※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■ ゲーム機を接続する

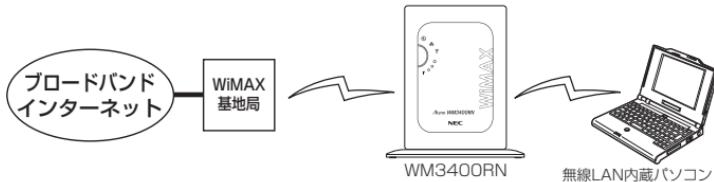
Wii、任天堂 DS、任天堂 DSi、「プレイステーション 3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(☞P3-35)

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

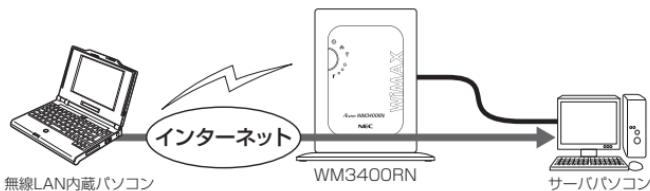
・ポートマッピングの設定 (☞P3-50)

また、UPnP 機能を使用して “Windows Live™ Messenger”、Windows® XP の “Windows Messenger” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。(☞P3-50)



■ SOHO で使用するときに便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する (☞機能詳細ガイド)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)、DMZ ホスト機能を利用して外部にサーバを公開できます。



- 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (☞P3-50、☞機能詳細ガイド)
VPN (Virtual Private Network: 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

■ 知っておくと便利な機能

- バージョンアップする (☞P3-51)
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する (☞機能詳細ガイド)
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。WM3400RN を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから WM3400RN に設定内容を復元することができます。
- 初期化する (☞P4-12)
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度はじめから設定したいときにお使いいただけます。

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

● 構成品

□ WM3400RN



保護シートが貼ってあります。
はがしやすく加工していますので、
ごからはがしてください。

□ WM3400RN 用
スタンド



□ WM3400RN 用
AC アダプタ



(品番 : AL1-001661-001)
※ AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

□ WM3400RN 用
ラバーシート



□ イーサネットケーブル
(LAN ケーブル)



□ つなぎかたガイド (別紙)

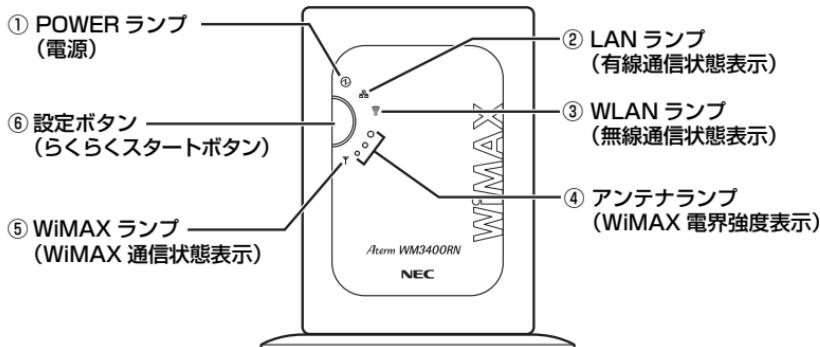


□ CD-ROM

らくらく無線スタート EX や取扱説明書
(本書) が収録されています。(P18)



WM3400RN



[ランプ表示]

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	本商品の状態
①POWER ランプ (電源) 	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑 (点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき (☞「つなぎかたガイド」参照)
	橙 (点滅)	新しいファームウェアが存在しているとき(☞P3-51)
	緑橙 (点滅)	WPS で無線設定中 (☞P3-37)
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		WPS で無線設定が完了したとき
	赤 (点灯)	らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤 (点滅)	初期化準備状態 WPS で無線設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
②LAN ランプ (有線通信状態表示) 	緑 (点灯)	ETHERNET ポート (LAN ポート) のリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	ETHERNET ポート (LAN ポート) がデータ送受信しているとき
	消灯	ETHERNET ポート (LAN ポート) のリンクが確立していないとき
③WLAN ランプ (無線通信状態表示) 	緑 (点灯)	無線 LAN で通信しているとき
	緑 (点滅)	無線 LAN でデータ送受信しているとき
	消灯	WLAN ON/OFF 切替スイッチが OFF になっているとき
		無線 LAN で通信していないとき

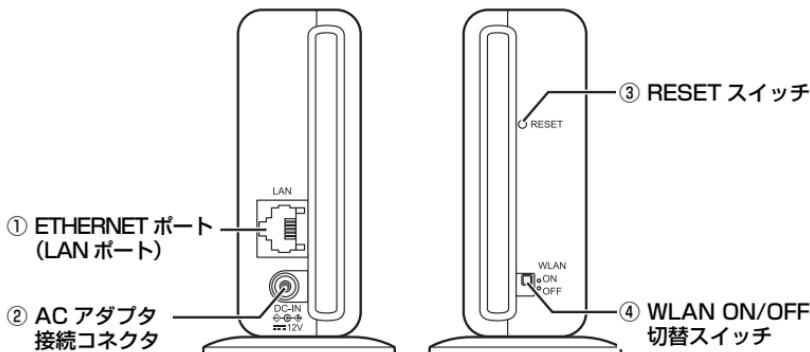
ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
④ アンテナランプ (WiMAX 電界強度 表示)	緑（1点灯）	弱電界
	緑（2点灯）	中電界
	緑（3点灯）	強電界
	消灯	圏外／ネットワーク接続していないとき
⑤ WiMAX ランプ (WiMAX 通信状態 表示)	緑（点灯）	ネットワーク接続で通信しているとき
	緑（点滅）	ネットワーク接続処理中
	赤（点滅）	サービス加入契約が完了していないとき
	赤（点灯）	ネットワーク接続に失敗したとき
	橙（点灯）	
	消灯	ネットワーク接続していないとき

【設定ボタン】

名 称	説 明
⑥ 設定ボタン (らくらくスタート ボタン) (※)	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 (☞「つなぎかたガイド」参照) WiMAX 通信が失敗した場合、再度 WiMAX のネットワークに接続するときに使用します。

(※) 無線 LAN 端末（子機）側の操作説明では、「らくらくスタートボタン」または「らくらく無線スタートボタン」という名称で記載されています。

● 側面図



名 称	説 明
① ETHERNET ポート (LAN ポート)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
② AC アダプタ接続コネクタ	WM3400RN 用の AC アダプタを接続します。
③ RESET スイッチ	初期化するときに使用します。(▶P4-12)
④ WLAN ON/OFF 切替スイッチ	無線 LAN の ON/OFF を切り替えるときに使用します。 無線 LAN を使用しないで、停止させたい場合は OFF にします。 ※工場出荷時は、ON 側です。

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (☞P1-15)
- ・ ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- ・ クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (☞P1-16)

〈ETHERNET ポート（LAN ポート）に有線で接続する場合〉

- ・ ETHERNET ポート（LAN ポート）を装備していること
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンのネットワークの確認 (☞P1-13)

〈接続可能な機器〉

OS など	WM3400RN の ETHERNET ポート（LAN ポート）
Windows®	○
Macintosh	○
その他 OS (Linux など)	○
ゲーム機	○

※ Windows® 7 をご利用の場合

本商品は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版のみに対応しています。

本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows Vista® をご利用の場合

本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版のみに対応しています。

Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。

自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Mac OS をご利用の場合

本商品は、Mac OS X 10.4 (Intel)、Mac OS X 10.5 (Intel) および Mac OS X 10.6 (Intel) の各日本語版のみに対応しています。PowerPC 搭載機種には対応していません。また、自作のパソコンはサポートしておりません。

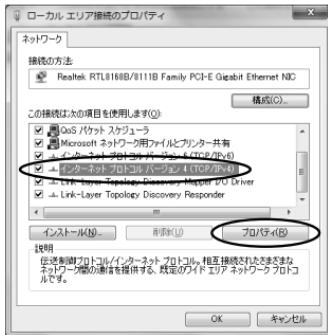
● お願い

- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® 7/Windows Vista® の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする
※ Windows Vista® の場合は、[ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
※ 有線接続の場合は [ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] または [OK] をクリックする



お知らせ

●Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

●ここでは、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

Windows® XP をご利用の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
※有線接続の場合は [ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

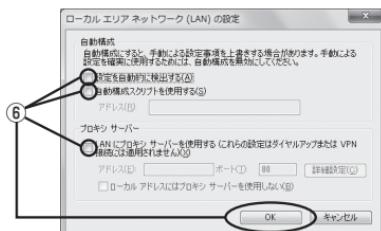
WWW ブラウザ (Internet Explorer など) の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows® 7 で Internet Explorer 8.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
※グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックする。
 - ⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする。
- プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWW ブラウザ（クリック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows® 7 で Internet Explorer 8.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] をクリックする

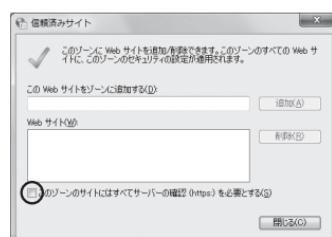
※ Windows Vista® または Windows® XP をご利用の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示]（または [クラシック表示に切り替える]） – [インターネットオプション] をクリックします。

※ Windows® 2000 Professional の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

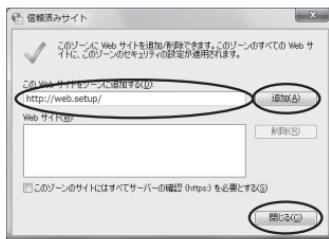
3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



5

[この Web サイトをゾーンに追加する] に「<http://web.setup/>」を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] (Windows® 2000 Professional で Internet Explorer 6.0 SP1 をご利用の場合は [OK]) をクリックする



※ クイック設定 Web による初期化(☞P4-12)を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス (192.168.0.1) でクイック設定 Web 画面が開きますので、本商品の IP アドレス「<http://192.168.0.1/>」も追加することをお勧めします。

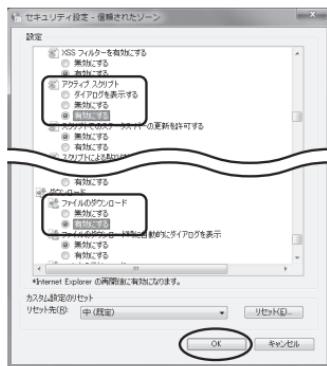
※ IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。(例:「192.168.0.1」) IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

6

[レベルのカスタマイズ] をクリックする

7

画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



8

[はい] をクリックする

9

[適用] をクリックする

10

[OK] をクリックする

Windows® で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows® 7 で Firefox 3.6 を使用している場合の例です。

1 Firefox を起動する

2 メニューバーの [ツール] – [オプション] をクリックする

3 [コンテンツ] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる

5 [OK] をクリックする



Mac OS で Safari をご利用の場合

以下は、Mac OS X v10.4 Tiger で Safari 3.2 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる



5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox をご利用の場合の設定方法は「[機能詳細ガイド](#)」をご覧ください。

MEMO

2

設置する

2-1 設置する.....2-2

WM3400RN の置き場所を決める

WM3400RN には電源、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

- WiMAX の電波が届く場所に置く
- WM3400RN 用の電源コンセントはあるか？

電源コンセントを確保しましょう。

- 無線 LAN 端末（子機）から無線で電波の届く距離に置く

無線 LAN 端末（子機）を設定するときは、WM3400RN のそばで設定しましょう。



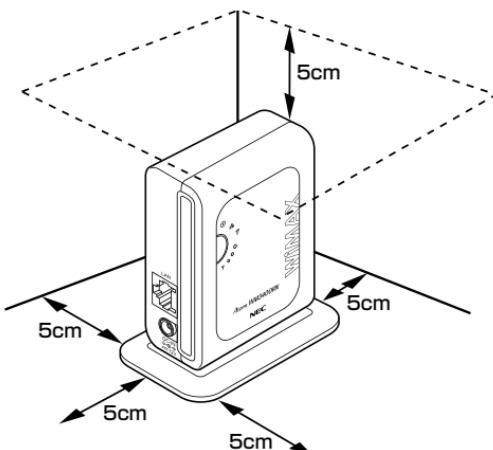
お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

WM3400RN を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

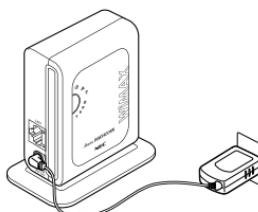
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



⚠ 警 告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- たこ足配線にしないでください。



⚠ 注 意

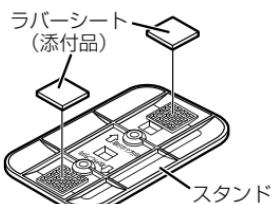
- 狹い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

縦置きの場合

1

添付のラバーシートをスタンド裏面に貼り付ける

ラバーシート（添付品）表面のフィルムは、設置後にはがしてご使用ください。

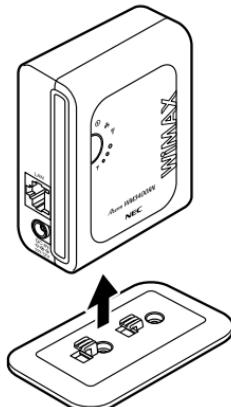


- ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱するおそれがあります。
- ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

2

スタンドを本体底面に差し込む

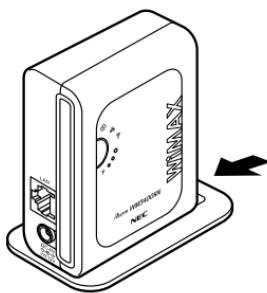
スタンドの凸部を本体底面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。



3

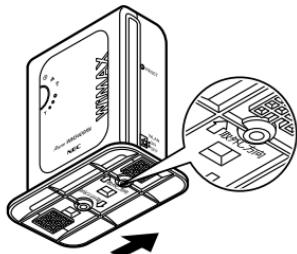
スタンドを矢印の方向にスライドする

「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」(本体側面側)へスライドさせて、取り外してください。



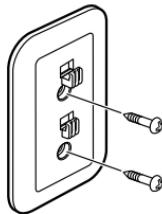
壁掛けの場合



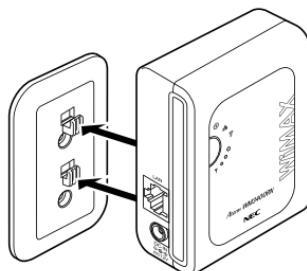
壁掛け用ネジはお客様でご用意ください。



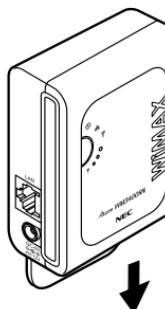
- あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用のネジを取り付ける



- スタンドに本体裏面を差し込む
スタンドの凸部に本体裏面のスタンド用取り付け穴を差し込みます。



- 本商品を矢印の方向にスライドする
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



!**本商品を外す場合は**

図のように、本商品を上面側へスライドさせて、取り外してください。



お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、本商品の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、本商品取り付け時は「カクッ」という感触があるまで確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。
- 本商品は、横置きにしないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。

お知らせ

- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

MEMO

3

WM3400RN を使用する

3-1	クイック設定 Web の使いかた	3-2
3-2	サインアップする	3-6
3-3	Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネット ワーク接続」で設定する	3-12
3-4	無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する	3-35
3-5	無線 LAN で iPhone/iPod touch/iPad から接続する	3-36
3-6	WPS 機能を使用して無線設定する	3-37
3-7	セキュリティ対策をする	3-42
3-8	便利な機能	3-50
3-9	ファームウェアやユーティリティを バージョンアップする	3-51

クイック設定 Web は、本商品の基本的な設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。WWW ブラウザの画面で設定します。

設定方法などの詳細は、別紙に記載のホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「動作確認済みの WWW ブラウザ」(→P3-3) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。



お願い

- クイック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、以下を確認してください。

● WM3400RN とパソコンとの接続

- 「つなぎかたガイド」を参照して接続を完了させておいてください。
- IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。

< IP アドレスの確認方法 >

■ Windows® 7/Windows Vista® の場合

- ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

- ① [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Mac OS X の場合

以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。

- ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- ② [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックする
- ③ IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

● JavaScript の設定

- P1-16 を参照して、JavaScript の設定を有効に設定してください。

●動作確認済みの WWW ブラウザ

■ Windows® 7 の場合

Internet Explorer 8.0 に対応
Firefox 3.6 に対応

■ Windows Vista® の場合

Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
Firefox 3.6 に対応

■ Windows® XP の場合

Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
(Windows® XP Service Pack 2 または 3 の場合)
Firefox 3.6 に対応

■ Windows® 2000 Professional の場合

Internet Explorer 6.0 SP1 に対応
Firefox 3.6 に対応

■ Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6 の場合

Safari 4.0 に対応 (v10.4/v10.5/v10.6 の場合)
Safari 3.2 に対応 (v10.4/v10.5 の場合)
Firefox 3.6 に対応 (v10.4/v10.5/v10.6 の場合)

■ ゲーム系

PSP 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応

※ PSP 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。

※ PSP 「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角 21 文字です。

※ クイック設定 Web を表示させる場合は、AES の暗号化方式で無線接続してください。らくらく無線スタートで無線接続すると、セカンダリ SSID に接続されるため、クイック設定 Web が表示できませんのでご注意ください。 (☞P1-5)

〈画面例〉



クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

※ 事前に、本商品とパソコンの接続が完了していることを確認してください。

① パソコンなどを起動する

② WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く



※本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。) 例 : <http://192.168.0.1/>

③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する

※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



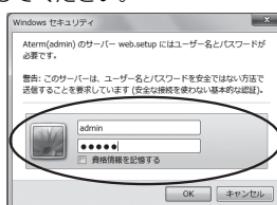
●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄

④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする

⑤ ユーザー名とパスワードを入力する

※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには③で控えた管理者パスワードを入力してください。



⑥ [OK] をクリックする

⑦ クイック設定 Web が表示される

※「Web ウィザード」画面が表示された場合は、[後で契約] をクリックして、クイック設定 Web を表示させます。

ポップアップヘルプについて

クイック設定 Web を開くと、各項目に  のポップアップヘルプがあります。

このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。



ポップアップヘルプ

本商品を WiMAX 接続する場合、WiMAX 通信サービス事業者とのサービス加入契約が必要です。WWW ブラウザ画面を使ってサービス加入契約をします。

WM3400RN の接続方法については、「つなぎかたガイド」の STEP1 「本商品を接続しよう」を参照してください。

なお、Windows Vista® および Windows® 7/XP の無線 LAN 内蔵パソコンから「ワイヤレスネットワーク接続」で接続する場合は、P3-12 を参照してください。

● お願い

● サインアップが完了するまで、本商品の電源を切ったりブラウザを閉じないでください。 サインアップの失敗などでブラウザを閉じた場合は、初めからやり直してください。

● 無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に接続していると*、 クイック設定 Web は表示できません。(☞P1-5)

その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示させてください。設定が終わったら、再度無線接続してください。

* WEP のみ対応の無線 LAN 端末（子機）から無線接続する場合など。

サインアップする

POWER ランプ点灯後、しばらくして（約 30 秒）WiMAX ランプが赤点滅している場合は、サービス加入契約が完了していません。また、POWER ランプ点灯後、WiMAX ランプが赤点滅から緑点灯に変わった場合は、サービス加入契約が完了しています。

WiMAX 通信サービスエリア内で電波が届いていることを確認し、以下の手順でサインアップを行ってください。

1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く

管理者パスワードの初期設定画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワードを決定してください。(☞P3-4)

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

例：<http://192.168.0.1/>

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3

Web ウィザードの設定画面が表示される



ご使用のブラウザが Safari の場合

ご使用のブラウザが Safari の場合は、一度閉じて、ブラウザの再起動していくだく必要があります。

通常の状態でブラウザを閉じることができない場合は、アプリケーションの強制終了でブラウザを終了してください。



お知らせ

● iPhone/iPod touch/iPad の Safari をリセットする

スリープ / スリープ解除ボタンとホームボタンを Apple ロゴが表示されるまで同時に 10 秒以上押し続けます。

お使いになっている iPhone/iPod touch/iPad のソフトウェアバージョンによっては、操作が違う場合があります。

iPhone/iPod touch/iPad の取扱説明書をお読みください。

4

[今すぐ契約] をクリックする

サインアップの前にクリック設定 Web で設定をする場合は、[後で契約] をクリックしてください。クリック設定 Web 画面が表示されます。



クリック設定 Web にて設定後に契約を行う場合は、WWW ブラウザを一度終了し、本商品の電源を切ったあと、再度電源を入れて WWW ブラウザを開き直してください。

※クリック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。



(次ページに続く)

5

接続処理中の画面が表示され、WiMAX ランプが緑点滅に変わる



携帯端末「Xperia™」の「Google™ Android version 1.6」では、この画面から更新されない場合があります。

WiMAX ランプが緑点灯になってから、WWW ブラウザの新しいウィンドウを開いてください。

(例 <http://www.nec.co.jp/> を開く) 手順 7 に進みます。

本手順は、「Google™ Android」のバージョンにより変わる場合があります。



(WiMAX の電波状態によっては、次の画面に切り替わるまでに数分かかる場合があります。)

6

接続中の画面に切り替わり、サインアップ処理を開始する

WiMAX ランプが緑点灯になります。

※ サインアップ失敗画面が表示された場合は、ブラウザを終了して、最初からやり直してください。



(WiMAX の電波状態によっては、次の画面に切り替わるまでに数分かかる場合があります。)



(情報バーにポップアップブロックが出る)



(契約情報の設定中画面)

(契約情報の設定中画面) のままで、10 秒ほど待っても手順 7 の画面が表示されないときは、画面中央の「[契約を行う]」をクリックして、手順 7 に進んでください。

WWW ブラウザでポップアップブロックが設定されていると、(情報バーにポップアップブロックが出る) が表示されたあと、手順 7 に進まない場合があります。

7

しばらくすると、WiMAX ポータルサイトが表示されるので、画面の案内にしたがってサービス加入契約を行なう

WiMAX ポータルサイトの画面は、Web ウィザード画面を表示したまま、別画面で開きます。



サービス加入契約が完了している場合は、右記の画面は表示されません。自動的に接続が完了します。



(画面デザインおよび内容は変更になる場合があります。)



サービス加入契約の手続きが終了したら、Web ウィザード画面を表示させてください。(Web ウィザード側の画面で契約処理の状況を確認できます。手順8の画面)

WWW ブラウザ画面を切り替えないと、表示されません。(iPhone/iPod touch/iPad では OS のバージョンによっては、WWW ブラウザ画面を切り替えないと、手続きが終了できません。)



お知らせ

サービス事業者とのご契約によっては、表示される画面や動作が異なります。詳細については、各サービス事業者へお問い合わせください。

(次ページに続く)

サービス加入契約の手続きが終了したら、Web ウィザード画面を表示させる

Web ウィザード側の画面で契約処理の状況を確認できます。



本商品の電源は、サインアップ完了画面が表示されるまで、絶対に切らないでください。

→ AC アダプタは、取り外さないでください。



(契約情報の設定中画面)



(サインアップ中の画面)



(書き込み中の画面)



お知らせ

サインアップ処理中に以下の表示が出た場合、再度契約を行うときはブラウザを終了して最初からやり直してください。

● サインアップ失敗

エラーが発生し、サインアップに失敗したとき



● サインアップ中断

処理の途中で【中断】をクリックしたとき



● サインアップ中

契約処理を他 PC にて設定しているとき



9

WiMAX ランプが緑点灯し、サインアップ完了の画面が表示されたら、画面を閉じる



WiMAX ランプが消灯または赤点灯している場合は

- 消灯
サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。
- 赤点灯
ネットワーク接続に失敗しました。
アンテナランプのつきかたで電波状態を確認して、電波状態の良い場所に移動させる必要があります。



無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本商品の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP (64bit, 128bit, 152bit^{※1})」、「TKIP^{※2}」、「AES^{※2}」の場合に、ご利用いただけます。

※ 1: WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack 1 ~ 3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows® 7/Windows Vista® ではご利用いただけません。

※ 2: TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP (Service Pack 2 または 3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

※暗号化キーを入力する際は、大文字を小文字で入力すると通信できませんので、ご注意ください。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

- ・ Windows® 7 の場合 (☞P3-13)
- ・ Windows Vista® の場合 (☞P3-20)
- ・ Windows® XP (Service Pack 2 または 3) の場合 (☞P3-26)
- ・ Windows® XP (Service Pack 1) の場合 (☞P3-30)

② 本商品との通信状態を確認する (☞P3-34)



お知らせ

- 設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

Windows® 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

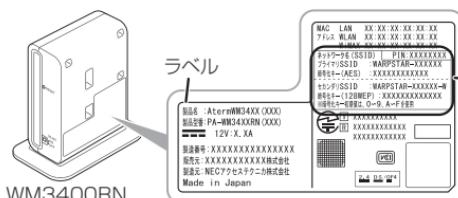
2 本商品のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合
（「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など）
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (☞P3-14) へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (☞P3-15) へ



※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。）

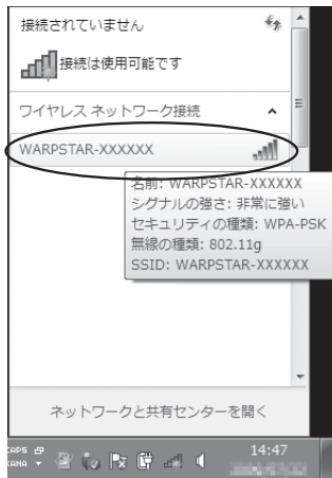


裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、
上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ
SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モー
ド、暗号化キー) が表示されています。

※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手動で設定する場合」 (☞P3-16) の手順 2 へ進みます。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ①[ネットワークと共有センターを開く] → [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
 - ②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
 - ③[はい] をクリックする
 - ④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる
- 上記の手順が完了したら、手順1(☞P3-13)から接続し直してください。

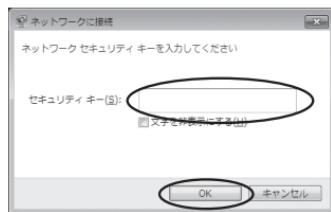


5

【セキュリティ キー】に暗号化キーを入力して、【OK】をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☞P3-13)

※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2 ~ 4 番にしている場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P3-16) へ進みます。

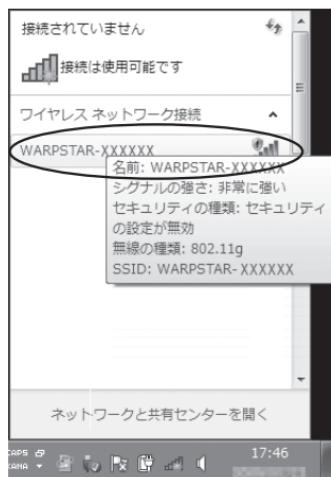


本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34) で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3

本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4

[接続] をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

●手動で設定する場合

1

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☞P3-13)

〈本商品の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
 - ② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する
 - ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
 - ④ [セキュリティキー] に本商品の暗号化キーを入力する
- ※暗号化キーは半角で、8～63 衆の英数記号または、64 衆の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

[8～63 衆の場合] 英数記号 (0～9, a～z, A～Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
*	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	ˋ	-
\$	(,	:	>]	{	}

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

[64 衊の場合] 16 進数 (0～9, a～f, A～F)

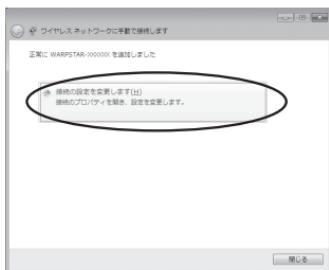
- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
 - ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
 - ③ [セキュリティキー] に本商品の暗号化キーを入力する
- ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ・ ASCII 文字の場合 :
 - 英数字 5 文字 :
本商品に 64bitWEP を設定している場合
 - 英数字 13 文字 :
本商品に 128bitWEP を設定している場合
 - 16 進数の場合 :
0～9・A～F で 10 文字 :
本商品に 64bitWEP を設定している場合
 - 0～9・A～F で 26 文字 :
本商品に 128bitWEP を設定している場合
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
 - ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
 - ⑥ [次へ] をクリックする

4

[接続の設定を変更します] をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

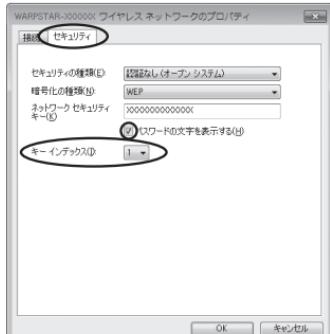
- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-16の手順1から接続し直してください。

5

[セキュリティ] タブをクリックして設定内容を確認する

- ※「[パスワードの文字を表示する]」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、[キーインデックス] で本商品に設定したキー番号を選択します。



※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

6

【OK】をクリックする

7

【閉じる】をクリックする

8

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、【接続】をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合

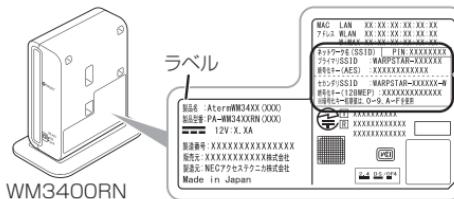
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (☞P3-21) へ

・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合

→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (☞P3-22) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



裏面ラベルの「ネットワーク名(SSID)」には、
上段にプライマリSSID、下段にセカンダリ
SSIDの無線設定内容 (SSID、暗号化モー
ド、暗号化キー) が表示されています。

※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「手動で設定する場合」(☞P3-23) の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3

【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1 (●P3-20) から接続し直してください。

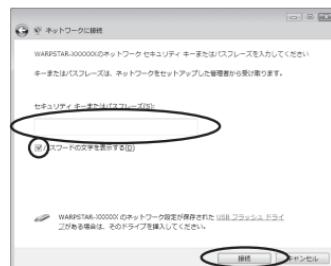
4

[セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

- ※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
- ※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-20)
- ※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2 ~ 4 番にしている場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-23) へ進みます。

[閉じる] をクリックする

5



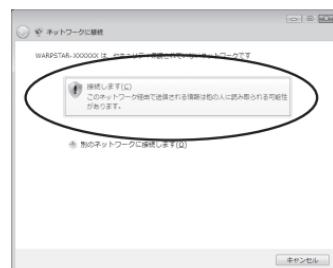
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-34) で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

●手動で設定する場合

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。（☞P3-20）

〈本商品の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合〉

① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する

② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する

③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

④ [セキュリティキーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する

※ [パスフレーズ文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化キーは半角で、8～63 衞の英数記号または、64 衞の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63 衞の場合】英数記号 (0～9, a～z, A～Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	ˋ	-
\$	(.	:	>]	{	

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 衞の場合】16 進数 (0～9, a～f, A～F)

⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

⑥ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる

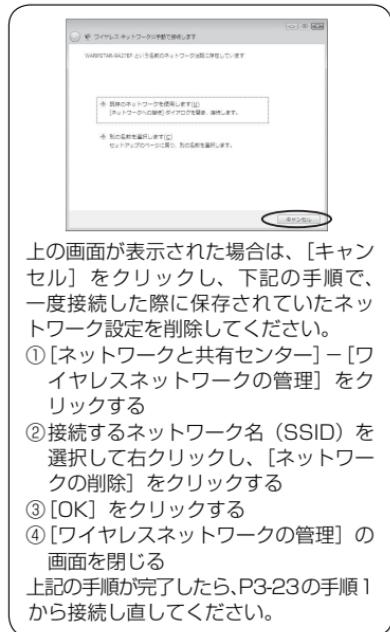
⑦ [次へ] をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
 - ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
 - ③ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する
- ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
 - ・ 16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
 - ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
 - ⑥ [次へ] をクリックする

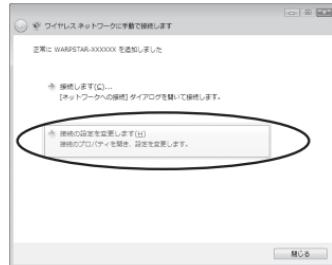
4

【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
 - ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
 - ③ [OK] をクリックする
 - ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる
- 上記の手順が完了したら、P3-23の手順1から接続し直してください。



5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、[キーインデックス] で本商品に設定したキー番号を選択します。



※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

6

【OK】をクリックする

7

【接続します】をクリックする

8

本商品のネットワーク名 (SSID) を選択し、【接続】をクリックする



9

【閉じる】をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

Windows® XP (Service Pack 2 または 3) の場合

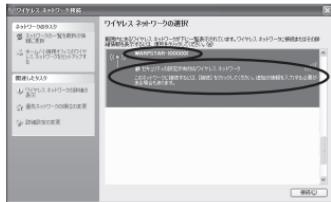
ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit)、TKIP、AES です。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。なお下記は、Windows® XP (Service Pack 3) の画面を例に説明しています。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする



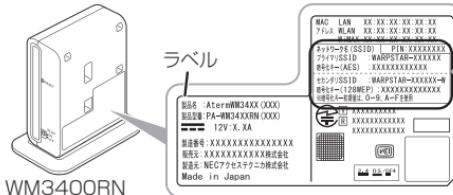
- 2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (☞P3-27) へ
- ・「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (☞P3-27) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。

→WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。

工場出荷時の
ネットワーク名 (SSID) と
暗号化キー

※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定の変更] をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3 (☞P3-28) へ進みます。それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

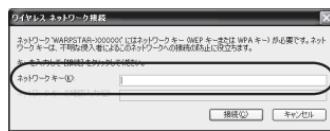
3 [接続] をクリックする

4 [ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☞P3-26)

※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2 ~ 4 番にしている場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P3-28) へ進みます。

5 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する



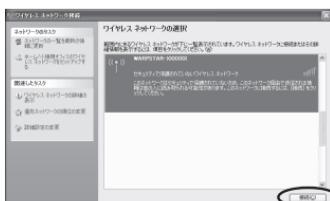
➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 [接続] をクリックする

4 次の画面が表示された場合は、[接続] をクリックする

5 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する



➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。

●手動で設定する場合

1

パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

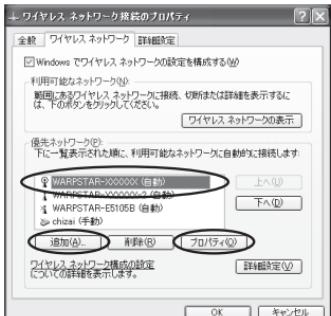
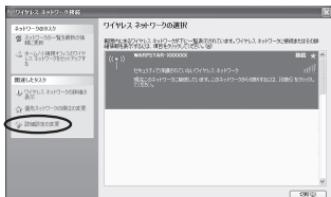
2

[詳細設定の変更]をクリックする

3

[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、本商品のネットワーク名(SSID)をクリックして、[プロパティ]をクリックする

※ネットワーク名(SSID)が表示されていない場合は、[追加]をクリックする



4

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☞P3-26)

〈本商品の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]を選択する

※[WPA2-PSK]は、[WPA2-PSK]に対応した無線LAN端末(子機)でのみ選択できます。

②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

※暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。



※画面は、本商品の暗号化モードがWEPの場合の例です。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。(半角で入力します。)

【8～63 行の場合】英数記号 (0～9, a～z, A～Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
*	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	、	-
\$	(,	:	>]	{	

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 行の場合】16 進数 (0～9, a～f, A～F)

④本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する] のチェックを入れる

※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

⑤[OK] をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

①[ネットワーク認証] で [オープンシステム] を選択する

②[データの暗号化] で [WEP] を選択する

③[キーは自動的に提供される] のチェックを外す

④[ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合 :

英数字 5 文字 :

本商品に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字 :

本商品に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字 :

本商品に 152bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合 :

0～9・A～F で 10 文字 :

本商品に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字 :

本商品に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 32 文字 :

本商品に 152bitWEP を設定している場合

⑤本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑥本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する] のチェックを入れる

※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

⑦[OK] をクリックする

【OK】をクリックする

5

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。



Windows® XP (Service Pack 1) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit) です。(TKIP、AES はご利用になれません。)

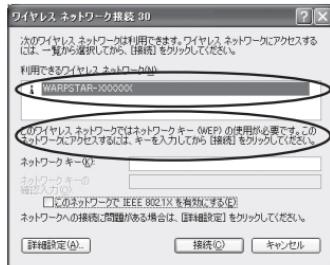
なお、本商品でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)^{*}を設定している場合は、ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を解除してください。

※ ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は、本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

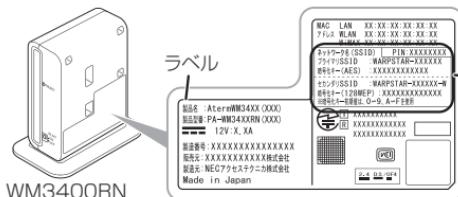
2 WM3400RNのネットワーク名(SSID)をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「このワイヤレス ネットワークではネットワークキー (WEP) の使用が必要です。」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (☞P3-31) へ
 - ・「**△** このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (☞P3-31) へ

※Windows® XP (Service Pack 1) は、WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名 (SSID) はセカンダリ SSID *を選択してください。

*工場出荷時のセカンダリSSIDは、本商品裏面に記載されています。(暗号化方式は、128bitWEPです。)



裏面ラベルの「ネットワーク名(SSID)」には、上段にプライマリSSID、下段にセカンダリSSIDの無線設定内容(SSID、暗号化モード、暗号化キー)が表示されています。

3-3 Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

※ 本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定] をクリックして「手動で設定する場合」の手順 3 (☞P3-32) へ進みます。

それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

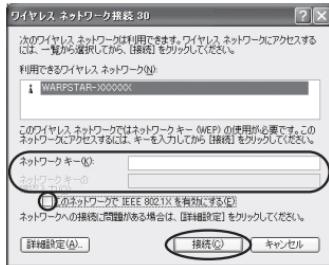
〈本商品に暗号化が設定されている場合〉

3 [ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする

※ [このネットワークで IEEE802.11x を有効にする] のチェック (□) は必ず外してください。

※ 工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☞P3-30)

※ 本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2 ~ 4 番にしている場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P3-32) へ進みます。



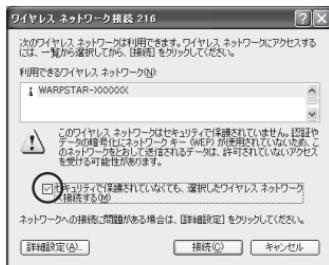
4 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34) で確認してください。



〈本商品に暗号化が設定されていない場合〉

3 [セキュリティで保護されていないでも、選択したワイヤレスネットワークへ接続する] にチェックを入れる



4 [接続] をクリックする

パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

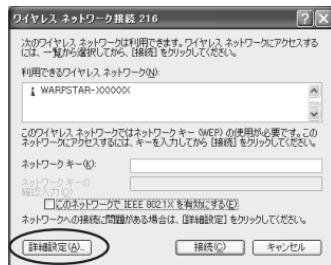


本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34) で確認してください。

●手動で設定する場合

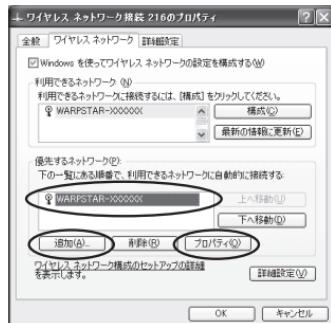
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

2 [詳細設定]をクリックする



3 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、本商品のネットワーク名(SSID)をクリックして、[プロパティ]をクリックする

※ネットワーク名(SSID)が表示されていない場合は、[追加]をクリックする



4

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※本商品と同じ暗号化キーを入力してください。(☞P3-30)

- ① [データの暗号化] にチェックする

（画面に [ネットワークアソシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）

- ② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す

- ③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ASCII 文字の場合 :

英数字 5 文字 :
本商品に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字 :

本商品に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字 :

本商品に 152bitWEP を設定している場合

- 16 進数の場合 :

0 ~ 9 ・ A ~ F で 10 文字 :

本商品に 64bitWEP を設定している場合

0 ~ 9 ・ A ~ F で 26 文字 :

本商品に 128bitWEP を設定している場合

0 ~ 9 ・ A ~ F で 32 文字 :

本商品に 152bitWEP を設定している場合

- ④ 本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

- ⑤ [OK] をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☞P3-34)で確認してください。



本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く]をクリックする

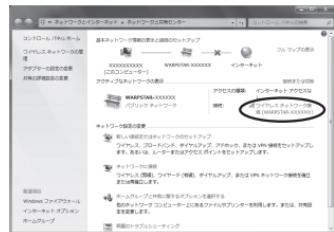
※Windows Vista® の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [ネットワーク] – [ネットワークと共有センター] をクリックします。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2 [ワイヤレスネットワーク接続] をクリックする

※Windows Vista® の場合は、「状態の表示」をクリックします。

※Windows® XP の場合は、[状態] をクリックし、[全般] タブをクリックします。



3 無線設定が正しく行われていることを確認する

・ [状態] が「有効」になっていること
(Windows® XP の場合は、[接続] になっていること)

・ [速度] が表示されていること
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。)



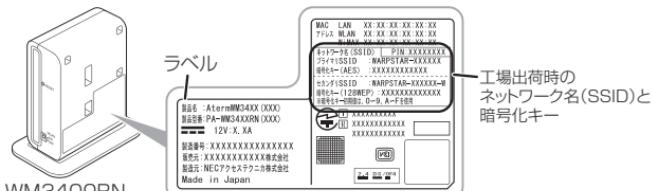
※画面は Windows® 7 の場合の例です。

4 [閉じる] をクリックする

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。

ラベル*に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

* ラベルは、本商品裏面に貼付しています。



工場出荷時の
ネットワーク名(SSID)と
暗号化キー

- ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。
※ 設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。
※ 暗号化キーを入力する際、大文字 (ABCDEF) はシフトキーを押しながら入力します。
大文字 (ABCDEF) を小文字 (abcdef) で入力すると通信できませんので、ご注意ください。
- ニンテンドーDS(ニンテンドーDS Lite含む)はWEPにのみ対応しておりますので、ネットワーク名 (SSID) は、セカンダリSSID*を選択してください。暗号化キーは、ラベル*に記載されている暗号化キーを設定してください。
※ セカンダリSSIDは、本商品裏面に記載されています。(暗号化方式はWEP(128bit)です。) なお、ニンテンドーDSiの場合は、AES、TKIPの暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書をご参照ください。
- らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

<無線接続できるゲーム機>

- Wii
- ニンテンドーDS(ニンテンドーDS Lite含む)
- ニンテンドーDSi(ニンテンドーDSi LL含む)
- 「プレイステーション3」
- PSP「プレイステーション・ポータブル」
- Xbox 360

お知らせ

- ゲーム機のブラウザでクイック設定Webを表示させる場合、セカンダリSSIDに無線接続していると*、クイック設定Webは表示できません。(→P1-5)
その場合は、AESの暗号化モードに対応した無線LAN端末(子機)からプライマリSSIDに無線接続してクイック設定Webを表示してください。
※ ニンテンドーDS、らくらく無線スタートで設定したPSPの場合など。

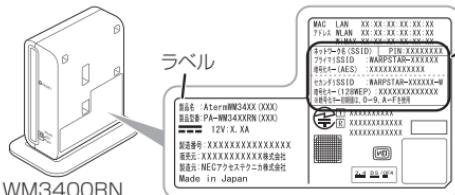
無線LANでiPhone/iPod touch/iPadから接続する

本商品に無線 LAN で iPhone/iPod touch/iPad を接続することができます。

無線 LAN 設定ラベル*に記載されている無線設定を iPhone/iPod touch/iPad 側に設定してください。

設定方法については、iPhone/iPod touch/iPad に添付の取扱説明書を参照してください。

* ラベルは、本商品裏面に貼付しています。



工場出荷時の
ネットワーク名(SSID)と
暗号化キー

裏面ラベルの「ネットワーク名(SSID)」には、
上段にプライマリSSID、下段にセカンダリ
SSIDの無線設定内容(SSID、暗号化モード、暗号化キー)が表示されています。

1

本商品裏面に貼付のラベルに記載されているネットワーク名 (SSID)
と暗号化キーをあらかじめメモを取っておく

暗号化キーを変更されている場合は、変更後の暗号化キーになります。

2

「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

3

設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

4

「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

5

周囲の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名 (SSID) をタップする

6

「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする

本商品の暗号化キーの初期値は大文字です。大文字は左側の「⇧」ボタンをタップしてから文字をタップすると入力できます。数字を入力するときは、「.?123」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。

7

設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される

例



お知らせ

●本商品の無線 LAN で、ESS-ID ステルスを設定している場合は、手順 5 で「その他」を選択し、ネットワーク名を直接入力し、「セキュリティ」をタップします。「その他」をタップしたあと、手順 6 へ進みます。

ワイヤレスネットワークの一覧から選択していったん接続が完了した後に、本商品の ESS-ID ステルスを有効にすると iPhone/iPod touch/iPad を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は、「その他」からネットワーク名を直接入力して再度設定を行ってください。

●本商品に MAC アドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。

接続が完了したあとに、iPhone/iPod touch/iPad の MAC アドレスを登録して有効にしてください。

●設定手順は、iPhone/iPod touch/iPad の OS バージョンにより変更される場合があります。

WM3400RN は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- 設定ボタン（らくらくスタートボタン）による設定（☞下記）
- PIN 方式による設定
 - WM3400RN の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する場合（☞P3-38）
 - 無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 設定を WM3400RN に設定する場合（☞P3-40）



お知らせ

- WM3400RN で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。WM3400RN 側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。

設定ボタン（らくらくスタートボタン）による設定

WM3400RN 前面にある設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記の通りです。

※ 設定の際は、WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）は近くに置いた状態で設定してください。（目安：1m 程度）

1 無線 LAN 端末（子機）の WPS 機能を起動する

※ 起動方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 WM3400RN 前面の設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押し、前面の POWER ランプが緑点滅または緑橙点滅したら離す



3 WM3400RN 前面の POWER ランプが橙点灯することを確認する

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。





失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。

再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書などを参照して、WM3400RN のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。

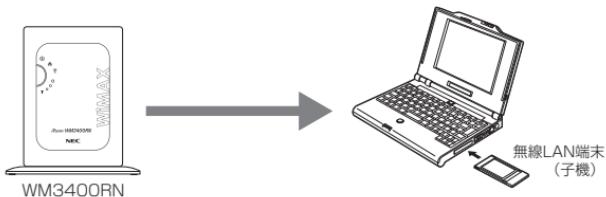
※ WM3400RN のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、WM3400RN 裏面のラベルを参照してください。

PIN 方式による設定

WM3400RN の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する場合

PIN 方式を使って、WM3400RN の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。

※ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。



- 1 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん ETHERNET ケーブル（LAN ケーブル）でパソコンと WM3400RN を接続する
※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。
クイック設定 Web を起動する（☞P3-4）
- 2 「無線 LAN 設定」 – 「WPS 設定」を選択する
- 3 [PIN 方式] の「使用する」にチェックする
- 4

5

[WPS の状態] の「Configured」のチェックを入れる



6

[無線 LAN 端末の PIN コード] に無線 LAN 端末（子機）の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末（子機）の PIN コードは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などをご参照ください。



7

[WPS (PIN 方式)] をクリックする



8

[OK] をクリックする

※WM3400RN の POWER ランプが緑橙点滅します。

9

無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから ETHERNET ケーブル（LAN ケーブル）を取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 10 に進みます。

10

無線 LAN 端末（子機）側で WPS 機能を起動する

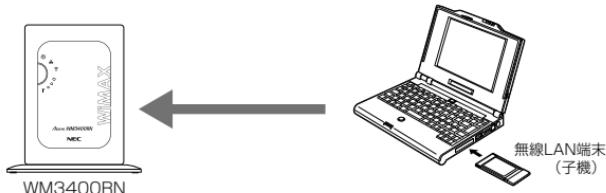
※起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、WM3400RN の POWER ランプが橙点灯（約 10 秒間）します。

無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 設定を WM3400RN に設定する場合

PIN 方式を使って、無線 LAN 端末（子機）の設定を WM3400RN に設定します。WM3400RN の無線 LAN 設定が変更になり、設定済みの他の無線 LAN 端末から接続できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

※ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。



お知らせ

●WM3400RN で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、WPS 機能での設定に失敗します。WM3400RN 側の設定を確認してください。

1

無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん ETHERNET ケーブル（LAN ケーブル）でパソコンと WM3400RN を接続する

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。

2

クイック設定 Web を起動する（☞P3-4）
Windows[®] 7 の場合は、「無線 LAN 設定」 – 「無線 LAN 設定」を選択して、[対象ネットワークを選択] でプライマリ SSID を選択し、暗号化モードを「暗号化無効」に設定して、[設定] をクリックする

※ Windows[®] 7 以外の場合は、手順 4 に進みます。

3

「無線 LAN 設定」 – 「WPS 設定」を選択する

4

[PIN 方式] の「使用する」にチェックする

5

6

[WPS の状態] の「Configured」のチェックを外す



7

WM3400RN の PIN コードを確認する



8

[設定] をクリックし、[保存] をクリックする

9

無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから ETHERNET ケーブル（LAN ケーブル）を取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 10 に進みます。

10

無線 LAN 端末（子機）側に WM3400RN の PIN コードを入力し、WPS 機能を起動する

無線設定が開始されると、WM3400RN の POWER ランプが緑橙点滅し、無線設定が完了すると、橙点灯（約 10 秒間）します。

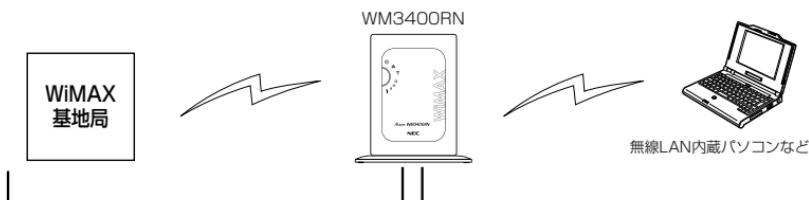
※ PIN コードの入力画面の表示方法および WPS の起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※ Windows® 7 の無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、接続するネットワーク名（SSID）をクリックして「自動的に接続する」のチェックを入れ、[接続] をクリックしたあと、WM3400RN の PIN コードなどの情報を入力して、WPS 機能を起動してください。

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（WiMAX 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「[◎機能詳細ガイド](#)」を参照してください。



- ・IPパケット
- ・フィルタリング
- ・アドバンスドNAT
(IPマスカレード／NAPT)
- ・不正アクセス検出機能
- ・ダイナミックポート
- ・コントロール機能
- ・悪質サイトブロック機能

- ・暗号化*
 - ・MACアドレスフィルタリング機能
 - ・ESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽)
 - ・ネットワーク分離機能
- *WM3400RNは、工場出荷時の状態で、プライマリSSID側のネットワークにはAES、セカンダリSSID側のネットワークにはWEP (128bit)の暗号化が設定されています。
設定内容(初期値)は、ラベルを参照してください。(ラベルは、本商品裏面に貼付しています。)



セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行なうことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。

悪質サイトブロック機能を設定する

悪質サイトブロック機能は、ネットスター社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

クイック設定 Web で、[悪質サイトブロック] - [ライセンス管理] - [お手続き画面へ]をクリックすると(☞P3-44)、ネットスター社のライセンス申し込みTOPページが表示されます。必ず、このページからライセンス申し込みを行ってください。本商品のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられています。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ネットスター社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

悪質サイトブロック機能の設定

＜本商品に要質サイトブロック機能を設定する＞

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クリック設定 Web のページを開く

WM3400BNのIPアドレスを入力しても開きます。

(丁寧な場合は 192.168.0.1 です。)

例：<http://192.168.0.1/>

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「悪質サイトブロック設定」画面で「[使用する]」にチェックを入れる



1 [設定] をクリックする

「[保存]」をクリックする

<ライセンスの申し込みをする>

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

- 1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：<http://192.168.0.1>

- 2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

- 3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[お手続き画面へ] をクリックする

ネットスター社のライセンス申し込みページ画面が表示されます。

画面にしたがって、設定を行ってください。



<ライセンス情報を確認する>

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

- 1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：<http://192.168.0.1>

- 2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

- 3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[ライセンス情報確認] をクリックしてライセンス情報を確認する

※ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック機能が有効になります。

※48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロックの機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

＜IPアドレスを登録する＞

本サービスを利用するには、利用する端末のIPアドレスと、その端末からのアクセスに適用するブロックレベルを、あらかじめ設定しておく必要があります。(設定していない端末からの悪質サイトへのアクセスをブロックすることはできません。)

- 1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く
WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：<http://192.168.0.1>
 - 2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
 - 3 「悪質サイトブロック」の「ブロック対象管理」画面で「追加」をクリックする
※ブロック対象エントリ項目の削除方法
「ブロック対象管理」画面でエントリー一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。
 - 4 プロファイル名、IP アドレス、ブロックレベルを設定する



プロファイル名 : 任意の文字 (半角 32 文字以内 ("?" を除く)、全角 16 文字以内) を入力します。

IPアドレス : 端末のIPアドレスを入力します。

【年齢】：小学生以下/中学生/高校生/大人から選択します。

- 5 [設定] をクリックする
 - 6 本機能の対象になる機器が複数ある場合は、手順 3 ~ 5 を繰り返して設定する
 - 7 [保存] をクリックする



お知らせ

- 指定したIPアドレスが、DHCPによって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、クリック設定Webの「詳細設定」-「DHCP固定割当設定」で、インターネット接続端末に固有のIPアドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、「[⑩機能詳細ガイド](#)」をご覧ください。

例外サイトの登録方法

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトの URL を例外サイトとして登録することができます。

1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クリック設定 Web のページを開く

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：<http://192.168.0.1/>

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「例外サイト設定」画面で、[追加] をクリックする

※ 設定した例外サイトの削除の方法

「例外サイト設定」画面で、エントリー一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

4 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別 : [許可] または [禁止] を選択します。

例外サイト : URL を入力してください。(ホスト名: 半角最大 128 文字 ("?" を除く)、パス: 半角最大 256 文字 ("/"、"*" を含む、"?" を除く) まで入力できます)

※ URL の最後に "*" を指定して、ワイルドカード指定が可能です。

(例) http://www.necat.co.jp/xxx_xxx

ホスト名

パス (/含む)

※ワイルドカード

ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さの任意の文字を意味します。

5 [設定] をクリックする

本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順 3 ~ 5 を繰り返して設定する

6 [保存] をクリックする



ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



【アクセス制限一時解除】をクリックして、クリック設定 Web 用の管理者 ID とパスワードを入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※ 一時解除される時間は 30 分です。

※ 画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター社 お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロックサービス」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://gbb.netstar.jp/aterm/>

※ E-mail のみの受け付けとなりますので、ご了承ください。
(土日祝祭日を除く 10:00 ~ 17:00)

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定前のお問い合わせについて

- ・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
- ・本サービスの申し込み方法について
- ・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- ・本サービスの提供元ネットスター株式会社について

連絡先：sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定後のお問い合わせについて

連絡先：shop_bb@netstar-inc.com

※ 本商品に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、別紙に示すお問い合わせ先へお問い合わせください。

規制ポリシー

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
不法	違法と思われる行為	×	×	×	×
	違法と思われる薬物	×	×	×	×
	不適切な薬物利用	×	×	×	×
主張	軍事・テロ・過激派	×	×	×	×
	武器・兵器	×	×	×	×
	告発・中傷	×	×	×	×
	自殺・家出	×	×	×	×
	主張一般	×	×	×	×
アダルト	性行為	×	×	×	×
	ヌード画像	×	×	×	×
	性風俗	×	×	×	×
	アダルト検索・リンク集	×	×	×	×
セキュリティ	ハッキング	×	×	×	×
	不正コード配布	×	×	×	×
	公開プロキシ	×	×	×	×
出会い	出会い・異性紹介	×	×	×	×
	結婚紹介	×	×	×	○
金融	金融レート・投資アドバイス	○	○	○	○
	投資商品の購入	×	×	×	○
	保険商品の申込	×	×	○	○
	金融商品・サービス	○	○	○	○
ギャンブル	ギャンブル一般	×	×	×	○
	宝くじ・スポーツくじ	×	×	×	○
ゲーム	オンラインゲーム	×	×	○	○
	ゲーム一般	×	×	○	○
ショッピング	オークション	×	×	×	○
	通信販売一般	×	×	×	○
	不動産販売・賃貸	○	○	○	○
	IT関連ショッピング	×	×	×	○
コミュニケーション	ウェブチャット	×	○	○	○
	メッセンジャー	○	○	○	○
	ウェブメール	○	○	○	○
	メールマガジン・ML	×	○	○	○
	掲示板	×	×	×	○
	IT掲示板	×	○	○	○

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
ダウンロード	ダウンロード	×	○	○	○
	プログラムダウンロード	×	○	○	○
	ストレージサービス	×	○	○	○
職探し	転職・就職	○	○	○	○
	キャリアアップ	○	○	○	○
	サイドビジネス	○	○	○	○
グロテスク	グロテスク	×	×	×	×
話題	イベント	○	○	○	○
	話題	○	○	○	○
成人嗜好	娯楽誌	×	×	×	○
	喫煙	×	×	×	○
	飲酒	×	×	×	○
	アルコール製品	×	×	×	○
	水着・下着・フェチ画像	×	×	×	○
	文章による性的表現	×	×	×	○
	コスプレ	×	×	×	○
オカルト	オカルト	×	×	×	×
ライフスタイル	同性愛	×	×	×	○
スポーツ	プロスポーツ	○	○	○	○
	スポーツ一般	○	○	○	○
	レジャー	○	○	○	○
旅行	観光情報・旅行商品	○	○	○	○
	公的機関による観光情報	○	○	○	○
	公共交通	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○
趣味	音楽	○	○	○	○
	占い	○	○	○	○
	タレント・芸能人	○	○	○	○
	食事・グルメ	○	○	○	○
	娯楽一般	○	○	○	○
宗教	伝統的な宗教	×	○	○	○
	宗教一般	×	○	○	○
政治活動・政党	政治活動・政党	×	○	○	○
広告	広告・バナー	×	×	○	○
	懸賞	×	×	○	○
ニュース	ニュース一覧	○	○	○	○

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

(  機能詳細ガイド)

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。

(  機能詳細ガイド)

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger の機能をご利用になることができます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

らくらく無線スタート、らくらく無線スタート EX 搭載

らくらく無線スタートに対応できる子機やゲーム機などは、設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押すだけで、無線 LAN やセキュリティ（暗号化）をかんたんに接続することができます。

らくらく無線スタート EX は、無線 LAN 内蔵パソコンまたは無線 LAN 端末（子機）で Windows Vista® および Windows® 7/XP (Service Pack 2 または 3) のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合に使用できます。

(  機能詳細ガイド)



お知らせ

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WM3400RN に新しい機能を追加したり、場合によっては、操作を改善します。

【用語】 ファームウェア：本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WM3400RN の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、その後でユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

設定ボタン（らくらくスタートボタン）によるバージョンアップ

本商品の POWER ランプが緑橙点滅（緑 3 秒、橙 0.5 秒間隔）した場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本商品の設定ボタン（らくらくスタートボタン）を使用してファームウェアの更新を行うことができます。

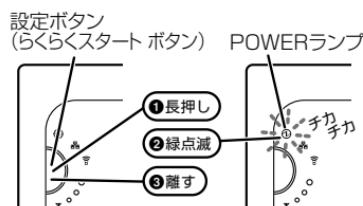
※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。

※ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」（初期値）に設定されている必要があります。（工場出荷時の状態では「使用する」に設定済みです。）

なお「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クリック設定 Web の【詳細設定】 - 【その他の設定】 - 【補助設定】で行います。詳しくは、「[④機能詳細ガイド](#)」を参照してください。

1 設定ボタン（らくらくスタートボタン）を長押しし（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら離す

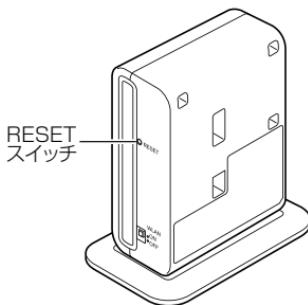
設定中は、他の無線接続はいったん切断されます。



2

POWER ランプが緑点滅になってから 1 分以内に、細い棒状のもの（つまりじなど電気を通さない材質のもの）で RESET スイッチを押す（約 1 秒）

ファームウェアがバージョンアップされている間は、POWER ランプが橙点灯します。緑点灯に変わったら、バージョンアップ完了です。



ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※ 本機能は、常に本商品の電源が入っており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。

本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。

詳しくは、別紙に記載のホームページをご覧ください。



お知らせ

● ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページの URL がホスト名の場合のみです。）

表示される例：<http://www.nec.co.jp/>

表示されない例：http://www.nec.co.jp/xxx_xxx

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できている必要があります。

1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クイック設定 Web のページを開く

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

例：<http://192.168.0.1/>

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

3 「メンテナンス」の [ファームウェア更新] を選択する

4 「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する



5 [更新] をクリックする

6 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



WM3400RN の電源は、絶対に切らないでください。

→ AC アダプタは取り外さないでください。



(次ページに続く)

7

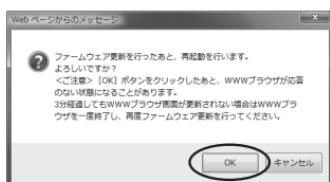
次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新] をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。[閉じる] をクリックして、クリック設定 Web を閉じます。



8

[OK] をクリックする



9

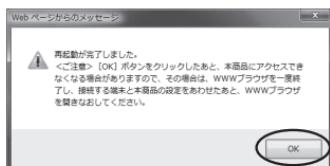
しばらくすると、クリック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される



WM3400RN の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

10

[OK] をクリックする



ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページから、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

自動更新（オンラインバージョンアップ）にて、バージョンアップすることをお勧めします。（☞P3-53）

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「⑩機能詳細ガイド」を参照してください。

- 1 別紙に記載のホームページにアクセスする
- 2 [ダウンロード] – [ソフトウェア] にて、お使いの機種を選択する
- 3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする
- 4 ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする
インストールが始まります。
詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやホームページの説明をお読みください。

MEMO

4

お困りのときには

4-1	トラブルシューティング	4-2
4-2	初期化する	4-12

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「**④機能詳細ガイド**」(☞P2)の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WM3400RN を初期化し (☞P4-12)、初めから設定し直してみてください。

初期化を行うと本商品のすべての設定が、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。(④機能詳細ガイド)

- ・設置に関するトラブル (☞下記)
- ・WiMAX に関するトラブル (☞P4-3)
- ・添付の CD-ROM に関するトラブル (☞P4-11)

設置に関するトラブル

● WM3400RN の POWER ランプが消灯している

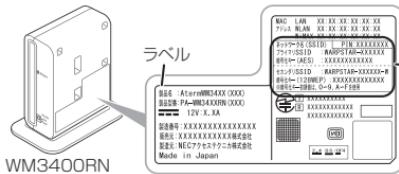
症 状	原因と対策
POWER ランプが消灯している 	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタが外れている → AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。 パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して別紙に示すお問い合わせ先にご相談ください。

WiMAX に関するトラブル

症 状	原因と対策
WiMAX ポータルサイトが表示されない	●電波状況を確認し、電波状況の良い場所に移動して、接続し直してください。
WiMAX ポータルサイトの画面を途中で終了させてしまった	●契約情報の入力が途中の場合は、いったんネットワークを切断後、再接続してください。再度 WiMAX ポータルサイトが表示されます。 → 契約情報を設定済みの場合は、そのまま処理が完了するまでお待ちください。
ネットワークに接続できない	●他のネットワークデバイスで通信していると、WiMAX による通信が行えないことがあります。 → WiMAX 以外の通信は切断してください。
WiMAX ランプが赤点灯または橙点灯している	●ネットワーク接続に失敗しました。 → 表示される電波状態を確認して、電波状況の良い場所に移動してください。
WiMAX ランプが消灯または赤点灯している	●設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押してみてください（1秒以内）。WiMAX のネットワークに再接続します。接続処理中は WiMAX ランプが緑点滅し、接続されると緑点灯します。 ●サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。 アンテナランプで表示される WiMAX 電界強度表示を確認して、電波状況の良い場所に移動してください。

● 無線 LAN 通信ができない

症 状	原因と対策
WM3400RN に接続できない	●WM3400RN の WLAN ランプが緑点灯しているか確認する。 → 側面の WLAN ON/OFF 切替スイッチを ON にしてください。 ●暗号化キーの設定が WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（☞機能詳細ガイド） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかつたり通信が正常に行えない場合があります。 → ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける (アドレス : 192.168.0. *、TCP ポート番号 : 23/53/75/80、UDP ポート番号 : 69/161) ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●「らくらく無線スタート EX に関するトラブル」（☞P4-7）も参照してください。
WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、WM3400RN や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。

症 状	原因と対策
セカンダリ SSID が見つからない	<p>● IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末（子機）によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。</p> <p>例）初期値の場合</p> <p>プライマリ SSID : WARPSTAR-xxxxxx (ラベル*に記載のネットワーク名(SSID))</p> <p>セカンダリ SSID : WARPSTAR-xxxxxx-W (ラベル*に記載のネットワーク名(SSID)の末尾に「-W」がついたもの)</p> <p>* ラベルは、本商品裏面に貼付しています。</p>  <p>裏面ラベルの「ネットワーク名(SSID)」には、上段にプライマリSSID、下段にセカンダリSSIDの無線設定内容(SSID、暗号化モード、暗号化キー)が表示されています。</p> <p>工場出荷時のネットワーク名(SSID)と暗号化キー</p>

● パソコンに IP アドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが設定されていない	<p>● パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3400RN の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記の手順で IP アドレスを取り直してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows® 7/Windows Vista® の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ 「ipconfig /release」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Windows® XP/2000 Professional の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /release」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Mac OS X の場合 ></p> <p>以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[AirMac] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする ③ [AirMac] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする ④ [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>● 無線 LAN をご利用の場合は、「無線 LAN 通信ができない」(☞P4-3) を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。</p>

● クイック設定 Web に関するトラブル

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(●P1-12) ● 無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると、クイック設定 Web は表示できません。(●P1-5) その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。
WM3400RN の クイック設定 Web が開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(●P1-16) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。 パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(●P4-5)
WWW ブラウザで WM3400RN にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザで WM3400RN にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで WM3400RN に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(●P3-4)
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3400RN を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(●P4-12) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」 - 「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(④機能詳細ガイド)
WM3400RN のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。

症 状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなってしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、[詳細設定] 一 [LAN 側設定]、または [無線 LAN 設定] 一 [無線 LAN 設定] の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。 その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。 (無線 LAN 設定を変更した場合は、本商品と無線 LAN 端末（子機）との無線設定をし直して、接続を確立させてください。) その後、再度クイック設定 Web を起動し（●P3-4）、[保存] をクリックしてください。（本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。） なお、[保存] をクリックせず、本商品の電源を切ったり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

● らくらく無線スタート EX に関するトラブル

症 状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3400RN の WLAN ランプが緑点灯しているか確認する → 消灯している場合は、側面の WLAN ON/OFF 切替スイッチを ON にしてください。 ● WM3400RN の設定ボタン（らくらくスタートボタン）を長く押しこすいでいる → 設定ボタン（らくらくスタートボタン）は、POWER ランプが緑点滅状態になったらいたん離します。「つながったガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行つてください。 ● ドライバが正しく入っていない → 詳細は、ご利用の無線 LAN 端末（子機）のメーカーにお問い合わせください。 ● らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない →添付の CD-ROM（ユーティリティ集）、または別紙に記載のホームページから最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。 ● WM3400RN の暗号化が解除されている → WM3400RN の暗号化設定を行ってください。（④機能詳細ガイド） ● WM3400RN の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → WM3400RN の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（④機能詳細ガイド） ● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ● パソコンに設定された固定 IP アドレスが WM3400RN のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。（●P1-13）

症 状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ● WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない → WM3400RN に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AES または 128bitWEP に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合 WM3400RN の設定を変更する必要があります。 ● どうしても設定できない場合は、「Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」(☞P3-12) で設定してください。

● ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
インターネット接続と切断が頻繁にできたりできなかつたりする	<p>お客様が WiMAX サービス事業者との間で機器追加オプション（名称は各事業者により変わる場合があります。）を契約され、1つの WiMAX 回線で複数の WiMAX 機器を登録されていた場合、後から接続する機器がインターネットに接続され、先に接続されていた機器がインターネットから切断される場合があります。</p> <p>2台の機器どうしで接続と切断を繰り返さないようにするために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web の「詳細設定」—【その他】—【切断時設定】にて「WiMAX 切断時の自動接続」の「接続する」のチェックを外してください。 <p>なお、【保存】をクリックせず、本商品の電源を切ったり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。</p> <p>ただし、機器追加オプションでも、各 WiMAX サービス事業者ごとにサービス内容が違う場合があるため、この設定をしていても問題とならない場合があります。 (例: WiMAX 利用登録画面などで、使用する機器の切り替え手続きを行ってから、インターネット接続ができるようになる場合など。)</p> <p>詳細は、各 WiMAX サービス事業者のサービス説明をご確認ください。</p>

症 状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p>● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p>
<p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows® 7/Windows Vista® の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ 「ipconfig /release」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Windows® XP/2000 Professional の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /release」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Mac OS X の場合 ></p> <p>以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[AirMac] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする ③ [AirMac] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする ④ [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) 	
前回はできたのにインターネット接続ができない	<p>● パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3400RN の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。</p> <p>〈IP アドレスの再取得〉 (●上記) を参照して、IP アドレスを再取得してください。</p> <p>● 1Day 契約などの契約期限が切れている場合があります。</p> <p>1Day 契約など、期間を限定して契約された場合、契約期限後に再度サービスを利用する場合は、WWW ブラウザから Web ウィザード画面にてサービス加入契約を完了させてください。 (●P3-6)</p>
WM3400RN が正常に動作しないが、原因がわからぬ	<p>● 設定に誤りがある場合があります。</p> <p>どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。</p>

症 状	原因と対策
接続する無線動作モードのネットワーク名(SSID)を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> WM3400RN 側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☞P4-13） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3400RN の裏面に記載されています。（☞P4-4） ETHERNET ポート（LAN ポート）に有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－【無線 LAN 設定】を確認してください。
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> WM3400RN 側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☞P4-13） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3400RN の裏面に記載されています。（☞P4-4） ETHERNET ポート（LAN ポート）に有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－【無線 LAN 設定】を確認してください。
無線状態が良好なのに速度が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →クイック設定 Web を起動して【無線 LAN 設定】－【無線 LAN 設定】の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」で「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる →1m 以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <IP アドレスの再取得>（☞P4-9）を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 固定 IP アドレスでお使いの場合は、WM3400RN と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例:WM3400RN が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.XXX)
無線 LAN 端末（子機）を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> 無線状態が悪い（WM3400RN との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。（☞上記） AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
WM3400RN のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> 次の方法で確認できます。 →クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示しない	<p>Windows® XP/2000 Professional の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 不要な場合は  をクリックします。（機種によっては【終了】をクリックします。）● Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

初期化とは、WM3400RN に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。WM3400RN がうまく動作しない場合は、WM3400RN を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

※ ご利用開始前に、WiMAX ポータルサイトで行った加入者契約は、解除・解約できません。サービス事業者へお問い合わせください。

※ 初期化の際は、P4-13の「お願い」もご覧ください。

※ 初期化しても、お客様がバージョンアップしたWM3400RNのファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する (☞下記)

RESETスイッチで初期化する (P4-13)

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://web.setup/>」と入力して、クリック設定 Web のページを開く

WM3400RN の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：<http://192.168.0.1/>

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

「Web ウィザード」画面が表示された場合は、[後で契約] をクリックして、クイック設定 Web を表示させます。

4 「メンテナンス」の【設定値の初期化】を選択する

5 [設定値の初期化] をクリックする



6 [OK] をクリックする

WM3400RN が再起動します。

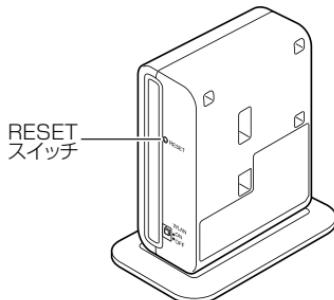
RESET スイッチで初期化する

WM3400RN の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、側面にあります。

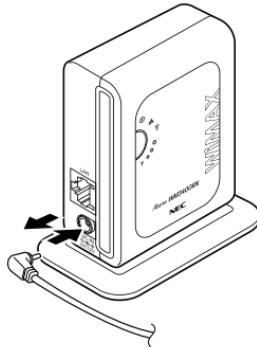
1 WM3400RN の POWER ランプが緑点灯していることを確認する

2 WM3400RN の側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。



3 WM3400RN から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込む



お願い

- WM3400RN の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- WM3400RN は、工場出荷時に、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の裏面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、WM3400RN の設定を変更するか、無線 LAN 端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（本商品の裏面に記載）に戻してください。

MEMO

5

付録

5-1	製品仕様	5-2
5-2	索引	5-4

WM3400RN ハードウェア仕様

項目	諸元および機能			備考
WiMAX インターフェース	IEEE802.16e-2005	周波数帯域 / BW	2.5GHz 帯 (2,595 ~ 2,625MHz) / 10MHz, 5MHz TDD	
		伝送方式	OFDMA (直交周波数分割多重) 方式	
		最大出力	23dBm	
	アンテナ	内蔵×2 (MIMO 方式)		
LAN インターフェース	物理インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート		Auto MDI/MDI-X 対応
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T *3		
	伝送速度	100Mbps/10Mbps *3		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
無線LAN インターフェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,462MHz) / 1 ~ 11ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度 *1	2.4GHz 帯 [HT20] *2 130/117/104/78/52/ 39/26/19.5/13Mbps (自動フォールバック) 2.4GHz 帯 [HT40] *2 300/270/243/216/162/ 108/81/54/40.5/27/ 13.5Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,462MHz) / 1 ~ 11ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度 *1	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,462MHz) / 1 ~ 11ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 *1	54/48/36/24/18/12/9/ 6Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		

項目		諸元および機能		備考
無線 LAN インターフェース	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、WPA2-PSK (TKIP、AES) ※ IEEE802.11n では WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES) のみの対応		
ヒューマン インターフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		WLAN	無線 LAN の通信状態表示	
		LAN	有線 LAN の通信状態表示	
		WiMAX	WiMAX の通信状態表示	
		アンテナ 1～3	WiMAX の電界強度表示	
	スイッチ	設定ボタン×1 RESET スイッチ×1 WLAN ON/OFF 切替スイッチ×1		
動作保証環境		温度 0～40℃ 湿度 10～90%		結露しないこと
外形寸法		約 67 (W) × 35 (D) × 94 (H) mm		スタンド含まず
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz		ACアダプタ使用
消費電力		8.0W (最大)		
質量 (本体のみ)		約 140g		ACアダプタを除く

- * 1： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- * 2： ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- * 3： 快適にご利用いただくために、100BASE-TX でのご使用を推奨します。

◎マークの項目については、ホームページに公開している「[機能詳細ガイド](#)」で説明しています。

[A ~ Z]

AC アダプタ	1-8
AC アダプタ接続コネクタ	1-11
AES	1-5
AirMac 対応のパソコンで インターネット接続	◎ 1-8
CD-ROM	18, 1-8
DHCP 固定割当設定	◎ 1-9
DHCP サーバ機能	◎ 1-9
DHCP 除外設定	◎ 1-9
DNS フォワーディング	◎ 1-9
DNS ルーティング	◎ 1-9
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	3-42, ◎ 3-42
ETHERNET ポート (LAN ポート)	1-11
IEEE802.11b 無線 LAN	◎ 1-9
IEEE802.11g 無線 LAN	◎ 1-9
IEEE802.11n 無線 LAN	◎ 1-9
IP パケットフィルタリング	3-50, ◎ 3-50
JavaScript	1-16
LAN ランプ	1-9
MAC アドレス ～フィルタリング機能	3-42, ◎ 3-42
PIN 方式	3-38
POWER ランプ	1-9
RESET スイッチ	1-11, 4-13
TKIP	1-5
TV 電話をする (Windows Messenger および Windows Live Messenger の利用方法)	1-6, 3-50
UPnP 機能	3-50, ◎ 3-50
VPN パススルー機能	3-50, ◎ 3-50
WAN 側機能	◎ 1-9
WEP	1-5
WiMAX に関するトラブル	4-3
WiMAX ランプ	1-9, 1-10
WLAN ON/OFF 切替スイッチ	1-11
WLAN ランプ	1-9
WPS 機能	1-4, 3-37, ◎ 3-37
WWW ブラウザの設定	1-15

[ア行]

悪質サイトブロック機能	1-4, 3-43, ◎ 3-43
アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)	◎ 1-9
アドバンスド NAT (ポートマッピング)	◎ 1-9
暗号化	◎ 1-9
安全にお使いいただくために	5
アンテナランプ	1-9, 1-10
医療電気機器	7
インターネット接続先の登録	◎ 1-9
置き場所を決める	2-2

[力行]

各部の名称とはたらき	1-9
管理者パスワードの変更	◎ 1-9
規制ポリシー	3-48
機能一覧	17
「機能詳細ガイド」目次	17
クイック設定 Web	3-2
～で初期化する	4-12
～の起動のしかた	3-4
～の使い方	◎ 3-4
ゲーム機を接続する	1-6, 3-35
工場出荷時の状態にもどす (初期化)	4-12
構成品	1-8

[サ行]

時刻設定	◎ 1-9
情報表示 (装置情報、状態表示)	◎ 1-9
初期化する	
RESET スイッチで～	4-13
クイック設定 Web で～	4-12
製品仕様	5-2
セキュリティ機能	3-42
接続する	
無線 LAN 内蔵のゲーム機から～	3-35
設置する	2-2
壁掛けの場合	2-6
縦置きの場合	2-4

設置に関するトラブル	4-2
設定する	
Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレス ネットワーク接続」で～	3-12
WPS 機能を使用して～	3-37
悪質サイトブロック機能を～	3-43
設定値の初期化	4-12
設定ボタン（らくらくスタートボタン）	
.....	1-9, 1-10

[タ行]

ダイナミックポートコントロール機能	⑨
通信確認（疎通確認テスト）	⑨
通信情報ログ（アクセスログ機能）	⑨
できること	1-2
添付の CD-ROM に関するトラブル	4-11
ドライバをインストールする	⑨
トラブルシューティング	4-2

[ナ行]

ネットワーク	
パソコンの～の確認	⑨
ネットワークゲーム	1-6
ネットワーク分離機能	⑨
ネットワーク名（SSID）	⑨

[ハ行]

バージョンアップ	3-51
はじめに（マニュアル構成）	2
パソコンのネットワークの確認	1-13
ファームウェアの更新	⑨
ファイアウォール	
.....	1-12, 4-3, 4-6, 4-7
不正アクセス検出機能	⑨
ブロードバンドルータ機能	⑨
ブロック画面の一時解除方法	3-47
便利な機能	3-50
ポートマッピング	3-50
ポップアップヘルプ	3-5

[マ行]

マルチ SSID	1-5, ⑨
無線セキュリティ	⑨
目次	15

[ラ行]

らくらく無線スタート EX 機能	⑨
らくらく無線スタート機能	⑨
ラバーシート	1-8, 2-4
ランプ表示	1-9
ルータ機能	⑨
例外サイト	3-46

[ワ行]

ワイヤレスネットワーク接続	3-12
---------------	------

■本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。

通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。

OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。

以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。

なお、本商品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION).

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (easy@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (th@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright® 1995-1998 Eric Young (easy@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (easy@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are heared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (th@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (easy@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (th@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

WIDE Project

Copyright® 1995-1997 Akihiro Tominaga

Copyright® 1995-1997 WIDE Project

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

LICENSE

The Copyright Holders of this software, including all accompanying documentation ("Software"), hereby grant, royalty free and for any purpose, permission to use, copy, modify and prepare derivative works therefrom, distribute, publish, sublicense and sell copies of the Software and to permit persons to whom the Software is furnished to do the same, all subject to the following conditions:

1. The complete text of the following notice shall be reproduced on each copy or substantial copy of the Software in a location readily viewable to users of the Software:

NOTICE

Copyright (c) Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co., Ltd., Motorola, Nokia, Openwave Systems, Inc., Palm, Inc., Psion, Starfish Software, Symbian, Ltd. (2001-2002).

All Rights Reserved.

Implementation of all or part of any Software may require licenses under third party intellectual property rights, including without limitation, patent rights. The Copyright Holders are not responsible and shall not be held responsible in any manner for identifying or failing to identify any or all such third party intellectual property rights.

THIS DOCUMENT AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND AND ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO. LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN AND ALL OTHER SYNCML SPONSORS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO. LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN OR ANY OTHER SYNCML SPONSOR BE LIABLE TO ANY PARTY FOR ANY LOSS OF PROFITS, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF USE OF DATA, INTERRUPTION OF BUSINESS, OR FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR EXEMPLARY, INCIDENTAL, PUNITIVE OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND IN CONNECTION WITH THIS DOCUMENT OR THE INFORMATION CONTAINED HEREIN, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSS OR DAMAGE.

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

製造元：NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WM3400RN 取扱説明書 第1版

AM1-001371-001
2010年6月

